

2019年4月号 / No.222 / 平成31年3月31日発行



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



春の渡り最盛期を迎える有明海へGO! (東よか干潟にて 撮影：ハネひとみさん)

野鳥さが222号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 事務局からのお知らせ-----2ページ
- カラスに関する講演会参加報告-----4ページ
- 各地の観察会報告-----7ページ
- 皆さんからのおたより-----11ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----12ページ
- 近隣地区の観察会情報-----14ページ
- 観察会会場までの案内-----15ページ
- 観察会などのお知らせ(2019年4月~5月) -----16ページ



役員会報告

(報告:副支部長)

【日 時】2019年2月24日 &3月24日

【出席者】2/24:11名 3/24:11名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) 25周年記念事業について

事前準備、会場準備、観察会などの打ち合わせを行った。

(2) その他、今後の観察会等について協議した。



事務局からのお知らせ

◆25周年記念行事案内

日本野鳥の会佐賀県支部は2019年6月19日で設立25周年をむかえます。25周年の節目を記念して下記のとおり式典を催したく、ご案内申し上げます。日頃ご多忙で、探鳥会等になかなか参加する機会のない会員の方も是非当式典へご参加頂き、懇親を深めて頂ければと切望致します。万障お繰り合わせの上、何卒ご参加ください。

25周年記念式典

期 日：2019年4月20日(土曜日)

会 場：ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
佐賀市栄町3丁目7-8
電話 0952-23-0111

受 付：13時～

講演会：14時～ 支部会員による野鳥座公演「干潟の鳥とその暮らし」

14時30分～ 財団主席研究員安西英明氏による講演
「野鳥に気づき 命や自然について 知ろう」

祝賀会：17時～19時

※佐賀駅より送迎バスを出します。

佐賀駅北口～マリトピア 12時45分 迎え

マリトピア～佐賀駅北口 19時30分 送り

会 費：祝賀会参加費 3,000円+2,000円(支部負担)

※中学生以下 無料



記念探鳥会（安西英明氏と一緒に探鳥会です）

期 日：4月21日（日曜日）

時 間：8時～

場 所：東よか干潟（大授搦） 干潟展望台前駐車場集合

見どころ：繁殖地に向け、渡り始めたシギ・チドリを観察します。

※出欠ハガキがまだ届いていない方が何人かおられます。 至急投函してください。

なお、講演会の人数制限はありません。「欠席」でハガキは出したけど、都合がつくようでしたら遠慮なくご来場ください。

◆ 支部総会開催のお知らせ

2019年度支部総会を下記日程で開催します。 今年度の活動方針を決める大切な場です。 これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。 支部発足から25年、「平成」が終わり、新しい時代を迎える支部の今後について、大いに語り合ひましょう。

【日時】5月26日（日）10:00～12:00

【場所】「本庄公民館」 佐賀市本庄町大字本庄 279-8



※参加される方は事前送付の「支部総会議案書」をご持参下さい。

◆ 鹿島市に「鹿島市干潟交流館」がオープン

4月13日（土）、鹿島市の「道の駅 鹿島」敷地内に「鹿島市干潟交流館」がオープンします。当日はオープン記念イベント開催されます。

午前「干潟（ガタ）入り初め」

午後「干潟交流館&H前鹿島干潟見学ツアー」

オープン記念ということで、いつもなら有料の干潟体験が無料となっています。

（どちらか1つの参加もOK）

申し込みは、事務局長の「中村さやかさん」まで。



鹿島市 干潟交流館

OPEN イベント 4/13 土

ガタ **干潟入り初め**
干潟の安全祈願&干潟体験

4/13 土 無料・要申込み 10時～11時

9時30分に「鹿島市干潟交流館」前にご集合下さい。

●持ち物
・水着・タオル・水筒
・ビニール袋
・汚れても良いTシャツと短パン

干潟交流館&肥前鹿島干潟見学ツアー
交流館&肥前鹿島干潟の見学

4/13 土 無料・要申込み 13時～15時

13時に「鹿島市干潟交流館」2階にご集合下さい。

ラムサール条約登録地に行ってみませんか？
ムシゴロウに会えるかも？

イベントのお申込みは → ☎ 0954-63-3416
鹿島市役所 ラムサール条約推進室





カラスに関する講演会参加報告

(報告: 島田洋)

カラスに関する講演を聴く機会があったので報告します。
佐賀自然史研究会と佐賀大学で開催している昆虫セミナーの行事としての講演会です。

【第82回昆虫セミナー】

【日時】2019年2月5日(火) 【場所】佐賀大学農学部1号館1階第3講義室

【講演者】杉田昭栄(宇都宮大学)

【司会進行】佐賀大学農学部応用生物学科システム生態学研究室 徳田誠

【演題】鳥能力 一カラスの生物力一

【講演風景】私(島田洋)は講演開始前10分に講義室に到着しました。講義室は、すでに大半の座席がうまっているような盛況でした。講義室前方のスクリーンにはカラスの実験風景動画が流れています。参加者は、佐賀大学関係者、佐賀自然史研究会会員、佐賀市役所環境政策課職員、佐賀県庁環境関係部署職員など様々。日本野鳥の会佐賀県支部からも数名来ておられました。

17:00から徳田先生の司会で講演が始まりました。1時間余り杉田先生が画像や動画を駆使しつつ講演をされ、その後は活発な質疑応答があって18:30過ぎに講演を終了しました。実に面白い講義でした。講演内容を以下にまとめてみました。

【講演内容】

杉田先生はカラスの研究者として有名であるが、解剖学の先生です。鳥類の能力の高さには感心するとの事。「鳥能力と書いてチョウノウリョク」。今回はカラスの能力に敬意を表して「鳥能力」という演題名での講演です。

講演は次のような3部構成で行われました。

- ①カラスの食性と消化管について
- ②飛翔とその特徴
- ③カラスの知的行動

それぞれについて紹介します。



カラスの食性と消化管について

- ① カラスはなんでも食べる。雑食である。肉類、小動物、昆虫、木の芽、穀類など
- ② ハシフトガラスはより動物性のものを好む傾向がある。
- ③ ハシボソガラスは動物性のものも食べるが、雑穀など植物性のものも結構食べる。
- ④ ハシフトガラスは野鳥のひな・卵なども食べるが、安全な高所へ持って行って食す。
- ⑤ カラスが野鳥・小動物などを襲うときは、眼や肛門など弱いところから襲って殺す。
- ⑥ カラスの盲腸は1.5cmと短い。ニワトリの盲腸は15cmと長い。
- ⑦ 雑穀を食うものは盲腸が長い
- ⑧ ハシフトガラスなどの筋胃は袋状。エサの丸のみに適した構造。



飛翔とその特徴

- ① ミヤマガラスの移動距離の研究がある。平成 12~15 年の調査。
東京自然教育園からの移動距離はほとんどが数 km 以内
- ② 鳥インフルエンザが大騒ぎの頃は、制限移動距離は 10 km とされていた。
- ③ 宇都宮大学では GPS 装置をカラスに装着するなどして調査した。
- ④ 大学付属農場のカラスは周辺の牛舎・豚舎・畑などを転々とした。
- ⑤ 夏の夜間の調査だが、夜間でもカラスは移動をしていることが分かった。
- ⑥ ハシブトガラスの平均移動距離は、ほとんどが 4~5 km 範囲内
- ⑦ たまに長距離を飛ぶものもある。
宇都宮から千葉県内までの約 100km 飛んだ例がある。
- ⑧ カラスは実に多彩な飛び方をする。急に反転したり、きりもみしたりなど。
- ⑨ カラスの骨の重さは体重の 5%。哺乳類は 18~20% である。鳥の骨は軽量である。
- ⑩ カラスには複合仙骨という構造がある。
数個の胸椎と全腰椎、全仙椎それに数個の尾椎が融合して複合仙骨となる。
- ⑪ ハシブトガラスの体重は 600~700g。ミヤマガラスは 450g である。
- ⑫ ミヤマガラスの飛ぶための筋肉。
小胸筋（ささ身）や大胸筋は他のカラスと比べて極端な差は無い。
- ⑬ 骨格筋は次のようないくつかのタイプに分類される。
Ⅰ型筋線維 赤筋、遅筋 : 赤色の筋線維で
Ⅱa型筋線維 ピンク色
Ⅱb型筋線維 白筋 速筋:
- ⑭ トビなどの滑空型の鳥の筋線維にはⅠ型が多い。
- ⑮ カラスの筋線維に含まれるアミノ酸やペプチドではタウリンが多い。
- ⑯ 鶏、トビ、アヒルの筋線維にはアセナリン（ジペプチドの 1 種）が多い。
- ⑰ 他にもいろいろな話があったが、聞き洩らしたことも多いであろう、
- ⑱ カラスの筋線維はどのタイプが多いのか聞き洩らしてしまった。

カラスの知的行動

- ① カラスの知的能力は高い。
- ② 脳が体重に占める割合。ヒト 1.8%、イルカ 0.6%、馬 0.08%、ネコ 0.6%
カラスは 1.4% もあり、ずば抜けて高い。
- ③ カラスでは大脳皮質が発達。カモ類では嗅球が発達している。
- ④ 道具を使うカラスとしてはカレドニアカラスが有名である。
- ⑤ とげとげの葉っぱや小枝を巧みに使って樹の中の幼虫を捕まえる。
- ⑥ 小枝の先に「返し（フック）」を作るなどの技術まで持っている。
こんな事ができるのはカレドニアガラスと人類だけである。
- ⑦ カラスは論理的思考が出来ると言える。
- ⑧ カレドニアガラスについては「道具を使うカラスの物語」という本がある。
- ⑨ カレドニアガラスはクチバシがまっすぐで棒の先端に視点を合わせやすい。
- ⑩ カラスの上下のクチバシには神経がある。



その先端には、圧覚のセンサーであるヘルプスト小体がある。

- ⑪ 何かを学習する日数はハシフトガラスのほうがハシボソガラスよりもやや短い。
- ⑫ ただ、ハシフトガラスは大胆な性格。容器の紙蓋は、大きく荒っぽく破る。
- ⑬ ハシボソガラスは、慎重な性格。容器の紙蓋を用心深く、小さい穴を開ける。これが学習日数の違いになってるかもしれない。

【質疑応答】

質問1. 上下のくちばしの神経は、人で言えば何という神経に該当するのか？

回答：三叉神経の上顎枝と下顎枝に該当する。

質問2. カラスの嗅覚はどうか？

回答：カモやハトは、脳の嗅球は発達しているが、カラスの嗅球は細い紐みたい。カラスの嗅覚は鈍いと思われる。

質問3：カラスは動物の死体などのえさをどのように食べるか？

回答：内臓からきれいに全部食べる。筋肉も食べるだろう。

質問4：ハシボソガラスとハシフトガラスは進化の段階ではいつ分かれたか？

回答：ハシボソガラスは世界中に分布している。ほかに何か語られたが聞き洩らした。

質問5：カラスには鳥の忌避剤は有効か？

回答：嗅覚に訴えるものは、効果は乏しいであろう。

追加の解説1：「孤独をいやがる遺伝子」があるかもしれない。すると群れを作る。

追加の解説2：カラスが行きたがる場所を作れば、ねぐらの分散化が可能になるだろう。

質問5：カラスの視力はどんなでしょう？

回答：カラスの網膜は人の網膜の3.5倍の画素数と言える。

カラスのみている色彩は人類とは異なっているかもしれない。

追加の解説3：カラスの脳では、機能に左右差があるといわれている。

「ネイチャー」に論文が掲載された

追加の解説4：カラスは学習したことをしっかりと記憶している。

1年経ってもしっかりと記憶している。カラスは忘れない。

【閉会】

他にもいくつもの質疑応答が飛び交った。すでに予定時間を大幅に超えてしまっていた。徳田先生から閉会の言葉があり、講師の杉田先生に今一度大きな拍手をして講演会は終了となった。

【私の感想】

実に面白い講演会であった。聴きたいことはまだまだいくらでもあった。

そして、聴衆の怖いくらいの熱心さが印象的だった。

- 【推薦図書】 杉田昭栄著 「カラス学のすすめ」 緑書房
杉田昭栄著 「カラス博士と学生たちのどうぶつ研究奮闘記」





各地の観察会報告



■出水探鳥行報告（熊本県、鹿児島県）

【日 時】 平成31年1月12日～14日

【参加者】支部会員10名、非会員1名

【観察された野鳥】カンムリカイツブリ、カイツブリ、ウミウ、カワウ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、オシドリ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、アメリカヒドリ、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオミズナギドリ、カツオドリ、セグロカモメ、ユリカモメ、ゴイサギ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クロツル、ナベツル、ナベクロツル、カナダツル、マナツル、オオバン、バン、クイナ、タゲリ、ハマシギ、クサシギ、イソシギ、タシギ、セイタカシギ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ハヤブサ、シベリアハヤブサ、チョウゲンボウ、コシジロヤマドリ、キジバト、アオバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、マミジロタヒバリ、ムネアカタヒバリ、タヒバリ、リュウキュウサンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ジョウビタキ、ルリビタキ、イソヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、ミヤマホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、アトリ、ニューナイスズメ、スズメ、イエスズメ、ムクドリ、ホシムクドリ、カケス、ミヤマガラス、コクマルガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ソウシチョウ（94種類）

【案内役より】

恒例の出水探鳥行2泊3日の行程で行って来ました。熊本県（滑石干拓、横島干拓、水前寺公園）鹿児島県（出水・荒崎、十曾池、川内川河口、錦江湾、鹿児島県民の森）と強行軍でした。観察出来た鳥は94種にもなりました。

最後は鳥種を増やすのが目的みたいになりましたが、大変楽しい探鳥行でした。

（報告者 宮原明幸）

■武雄宇宙科学館周辺観察会報告（武雄市）

【日 時】 平成31年2月3日

【参加者】支部会員16名、一般参加者3名（案内役：馬場清）

【観察された野鳥】カイツブリ、ヒドリガモ、マガモ、ヨシガモ、オオバン、カワウ、コゲラ、シジュウカラ、アオジ、シロハラ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ミヤマホオジロ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、コガモ、アオサギ、ダイサギ、キセキレイ、ゴイサギ、ハシビロガモ、セグロセキレイ、コブハクチョウ（23種類）

【案内役より】

早朝から時折小雨が降る中、19名の方が集まってくれました。

遠路、熊本市の方、柳川市の方、波佐見町の方、基山町の方などは朝早く家を出られた事でしょう。本当に野鳥に魅せられた方で心優しい方々でしょうね！



新しく佐賀県支部に加入されたMさん、今後は既会員の仲間と和気あいあい楽しく、面白く、愉快地にやってみましょう。

あいにくの雨空で、時折、傘にお世話になる日とで鳥たちも出不精になり声も姿も見せてくれません。湖の水面にはたくさんのヨシガモとマガモ、ヒドリガモ、オオバン、カワウなどがエサをついばんでいた。ボート乗り場の側にはいつものようにコブハクチョウが首を長が〜くしてエサをねだっていた。

園地に回り、昨年観察されたトラツグミを全員で探すが見えず、雨が強くなり途中で引き返す事になった。屋内駐車場で早々の鳥合わせをやり、23種類を確認し散会にしました。

■八谷搦→小島古墳公園観察会報告（伊万里市）

【日 時】 平成31年2月10日

【参加者】支部会員23名（案内役：山崎章弘）

【観察された野鳥】カンムリカイツブリ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、クロサギ、カルガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミサゴ、トビ、マナヅル、オオバン、イソシギ、セグロカモメ、ウミネコ、キジバト、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シロハラ、ウグイス、ヤマガラ、メジロ、クロジ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（33種類）

【案内役より】

有田川河口の工事の影響のためか2月の八谷搦周辺は、野鳥の個体数・種類数ともに減っています。そのため、現地で昨年行った山代町の小島古墳公園へ変更し移動しました。小島古墳は、古墳部分の照葉樹林の陸環境、伊万里湾と淡水の貯水池の水環境、異なる環境がすぐ近くにあり、森林部分はコゲラやシロハラなどの陸の鳥、海上はカモメ類、貯水池はウヤカモ類がいました。

この日は、前日に見つけていたクロサギが予定通り貯水池におり、伊万里でのクロサギは10年以上ぶりの確認でした。探鳥中、上空を大きな鳥が5羽静かにゆっくりと通過しました。この5羽は長浜干拓で越冬していたマナヅルでした。途中、2羽と3羽に別れ旋回上昇し、順調に渡っているようでしたが、約15分後3羽（家族群）はまた探鳥中の自分たち上空を通り長浜干拓へ戻りました。その後、その3羽は再出発し空高く上がり渡ったと、長浜干拓からツルの会の会長より連絡がありました。再出発時は、小島古墳では確認できませんでした。探鳥会参加者に、伊万里の越冬マナヅルの北帰行を観察できてよかったと思いました。最後に、急な探鳥地変更でご迷惑かけてすみませんでした。

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日 時】 平成31年2月24日

【参加者】支部会員30名、一般参加者12名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ミヤコドリ、

シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ヒバリ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、ツグミ（30種）

【案内役より】

無風、快晴で最高の観察会日和です。満潮時 12 時 21 分、潮高 5.1m で、集合時刻は 11 時のためか、40 名を超える人が集まる。東京、横浜、熊本、福岡、など県外からの参加者も多い。まずは頭の黒くなったズグロカモメが目立つ。上空ではノスリが旋回する。中央部に移動し、干潟の上にクロツラヘラサギ、セグロカモメを見る。さらに西に行き、シロチドリ、メダイチドリ、ハマシギの群れを観察する。満潮時にオオハシシギ、ダイシャクシギの群れの中のホウロクシギを見つける。潮が引き始め、鳥合わせをして終了。数日前に見られたアカツクシガモは残念ながら出現しませんでした。

■小城公園観察会報告（小城市）

【日 時】 平成 31 年 3 月 3 日

【参加者】佐賀県支部会員 15 名（案内役：蒲原留美）

【観察された野鳥】アオサギ、コサギ、ゴイサギ、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、アトリ、シメ、スズメ、カササギ、ハシブトガラス、ハシボソガラス（26 種類）

【案内役より】

曇天の下、小雨の合間をぬうように始まった観察会。ここ何週間か行われている公園整備で園内北側の池の水が抜かれ、カイツブリが期待できないため、梅の広場からのスタートにしました。

鳥居→梅の広場→ヤドリギを通過し坂道へ→坂道を上り石碑裏の広場→高台→石碑広場→神社→階段を降り、公園東側駐車場に面した池→公園内梅の広場→北側の池→鳥居→ゴール

整備によりヤドリギもすっかり取り除かれ、小ざっぱりとなった公園。鳥たちに会えるのか、少しの不安とともに歩き始めました。梅広場付近では、子育ての時期ということもあり、カササギの幼鳥、アトリの幼鳥、木に実るかのようなカワラヒワの集団を観ることができました。まずまずのスタートです。ゆっくりと坂道を上り、石碑広場、高台へ。声はすれども姿が見えぬぞ、アオジ、コゲラ、シジュウカラ。皆でキョロキョロしていると「ここです」と言わんばかりにちゃんと姿を見せてくれました。シジュウカラは胸のネクタイの幅でオス、メスを見分けます。しっかり観察ができました。公園東側駐車場に向かう途中、シロハラが地面に。観察のチャンスだったのですが、女性の出現により茂みに隠れてしまい残念。駐車場に面した池は、以前ゴイサギの巣があった場所で、整備後一時期鳥が観られなかったのですが、最近またカワセミやゴイサギ、カイツブリも時々観られるようになったようです。今回はここでは会えませんでした。また、ゆっくりと公園に戻り梅広場から水を抜いた池方面へ。

ホシゴイと呼ばれるゴイサギの幼鳥、ハクセキレイ、セグロセキレイも池の付近に。ホシゴイは通称で、星をまとったような姿からホシゴイと呼ばれています。観察会も終盤、池の反対側、近い場所にカワセミが！案内者の失態。案内者の影に驚いて飛んでしまいました。（参加者の皆様、申し訳ありませんでした）しかし、カワセミのおかげで気分は上々。鳥合わせをしようとしたところ、最後にキセキレイも現れてくれました。お天気の悪い中、参加していただいた皆様にも感謝ですが、ちゃんと姿を現してくれた鳥達にも感謝です。梅や土筆やノビルにも、もうすぐ暖くなる気配を感じながらの観察会となりました。

※3月10日の鬼の鼻山公園観察会は雨のため中止しました。

県外探鳥ツアーのご案内

春の渡りを満喫しよう！

①長崎県「野母崎」探鳥会

【日 時】 4月30日（火・祝）

【探鳥地】 長崎市 野母崎

【見どころ】軍艦島が見える野母崎へ、地元ではなかなか出会えない小鳥たちを見に行きます。 去年は「スグロチャキンチョウ」「シマノジコ」を見ることができました。

【集合場所・時間】佐賀市大和町の「さが水ものがたり館」午前6時00分レンタカー乗り合わせのため、参加申し込みが必要です。

【申し込み先】 加藤 芳隆さん（携帯：090-4510-1560）まで。



②山口県「見島」探鳥ツアー

【日 時】 5月1日（水・祝）～5月3日（金・祝）

【探鳥地】 山口県萩市 見島

【見どころ】「佐賀野鳥の会」「日本野鳥の会佐賀県支部」合同探鳥会です。

毎年恒例となった見島に、春の渡り途中の鳥たちに会いに行きます。

見島は、山口県萩市沖45kmの日本海に浮かぶ孤島です。

この時期、大型小型のヒタキ類やムシクイ、セキレイ類が大挙して通過して行きます。尚、島にレンタカーはありませんので徒歩で見て回ります。

※佐賀より車に乗り合わせて行きます。

【費用】 約30,000円 【申込み締め切り】4月10日

【申し込み先】佐賀県支部ホームページの「お問い合わせ」よりメール、又は佐賀県支部携帯電話（080-1786-8452）へ連絡をして下さい。



皆さんからのおたより



●「この時期の鳥たち 2019 その2」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

1/12～14日の佐賀県支部の出水ツルツアーに参加して、下旬に茨城に戻りましたが、おなじみの冬鳥には全く巡りあいません。1/27、栃木県の井頭公園に日帰り探鳥会に行き、ようやくルリビタキやキクイタダキ、トラツグミに会いましたが、やはり地元で見えなかったです。その後もこの状態は続き、ウソも見なかった。海ではクロガモやウミアイサなど、そこそこは見ました。あとは3/10に昨年6月以来の千葉県野田市放鳥のコウノトリを1羽、3/13には3羽、合計4羽を見ました。野田市放鳥分は3羽で残り1羽は徳島県で放鳥されたものらしいです。伊万里市にいると思われる個体も野田市放鳥の個体です。

1月、佐賀に滞在中に伊万里市の長浜干拓で会った方に聞いたら、やはり気になるとみて、伊万里市の大川野まで見に行ったり、以前の長浜干拓へのツルの飛来は凄かったとか、話をして下さいました。



クロガモ



コウノトリ



●「八谷搦→小島古墳観察会に参加して」・・・徳淵 義実さん（鳥栖市）

2月10日（日）の八谷搦→小島古墳観察会（伊万里市）に参加しました。当日は天気も良く、寒くもなく絶好の鳥見日和でした。当初の予定では伊万里市の八谷搦の川沿いのあし原での観察予定でしたが、近況を良く把握されている案内担当の方の機転で急遽、小島古墳へ観察場所を変更する事になりました。車の行列で移動をスタートしましたが、ご想像通り信号機に隊列を分断され、私も後の集団で付いて行きました。後の集団の先頭車が大きな工場へ入って行きましたので「伊万里は凄い工場の中に鳥を見れる所があるんだ」と期待してついて行った所、先頭車の道間違いだったようで、工場を送り出されて先導者もすぐコース修正により無事に小島古墳に到着しました。よその地で、みんなで道に迷うのも私には楽しい思い出として楽しんでいます。地図もカーナビもない渡り鳥にとっては、コースを外れると私には想像もできない恐怖があるのだらうと思います。

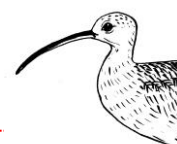
小島古墳公園では普段より鳥の種類が少ない、との説明でしたが、クロサギを以前別府で見て以来6年振りに見ることができました。最初は逆光線だったので、少しでも光線



が良くなる事を願って、居残りして観察していると、2羽目のクロサギも現れました。が、近づくクロサギを追っ払っていました。仲間意識ではなく単なる餌場のライバルなのでしょうか、なかなかキビシーです。また次の観察会も何が見られるか楽しみです。



皆さんからの野鳥&生きもの情報



■八木 ひとみさん (佐賀市)

- 2月10日 【東よか干潟】 アカアシシギ、ズグロカモメ、タゲリ、ツクシガモ、エリマキシギ、カシラダカ
- 2月16日 【鳥栖市麓公民館周辺】 ツグミ、エナガ、ウグイス
- 2月23日 【東よか干潟】 クロツラヘラサギ、ヘラサギ、シロチドリ、ハマシギ
【福富調整池周辺】 アカハシハジロ、オオカワラヒワ、ツリスガラ、ホシムクドリ
- 3月9日 【東よか干潟】 クロツラヘラサギ、ハマシギ
【福富】 ホオジロ、オオジュリン



アカアシシギ



ツクシガモ&タゲリ&ズグロカモメ



ウグイス



エナガ



珍鳥アカハシハジロ



菜の花の中で謳うホオジロ



■馬場 順一さん（鳥栖市）

3月9日、15日、26日【鳥栖市山下川周辺】カイツブリ、カワウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ヒクイナ、バン、オオバン、コチドリ、ケリ、イソシギ、ミサゴ、ハヤブサ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、イワツバメ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ツリスガラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス



頭が白くなったカワウ

鳥栖市の野鳥調査以来、13年ぶりに訪れた山下川（基里中の横～鳥栖流通団地内）はカルガモ、コガモ、オオバン

だらけになっていました。
（いずれも当時は同じ季節に1羽も観察していない）

3月20日【鳥栖市朝日山&安良川周辺】カルガモ、コガモ、ダイサギ、アオサギ、コチドリ、クサシギ、イソシギ、ノスリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ルリビタキ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ソウシチョウ

朝日山から山麓を流れる安良川（国道34号線に出るまで）を5時間かけて観察。渡りの時期が近いためか、いつもはすぐに隠れてしまうアオジやオオジュリンが飛び回っていました。トラツグミを朝日山で見たのは初めてです。



トラツグミ



コチドリ



羽根を広げてノビー！





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：4月7日(日)、5月5日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：4月2日(火)、5月7日(火) 10:00~12:00 (定例探鳥会) 集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 第5駐車場近くの音楽堂ステージ側

日時：4月13日(土)、5月11日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：4月14日(日)、5月12日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：4月21日(日)、5月19日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ

日時：4月28日(日)、5月26日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

日時：4月7日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：9:00 小郡市干潟の城山公園駐車場

日時：4月17日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

日時：4月28日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・黒崎公園 / 集合：9:00 黒崎公園・第1公園グラウンド

日時：5月5日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：朝倉市・甘木公園 / 集合：9:00 甘木公園噴水駐車場前

日時：5月26日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：みやま市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

※お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>



mini photo gallery

(撮影：八木ひとみさん、馬場順一さん)

← オオカワラヒワ

カルガモ団 →



～編集部からのお知らせ～

★詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

★より良い支部報にするために皆様の感想、ご意見をお寄せください。

【編集係：馬場順一】〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11

携帯：090-5084-2649 Eメール：f_baba841@ybb.ne.jp

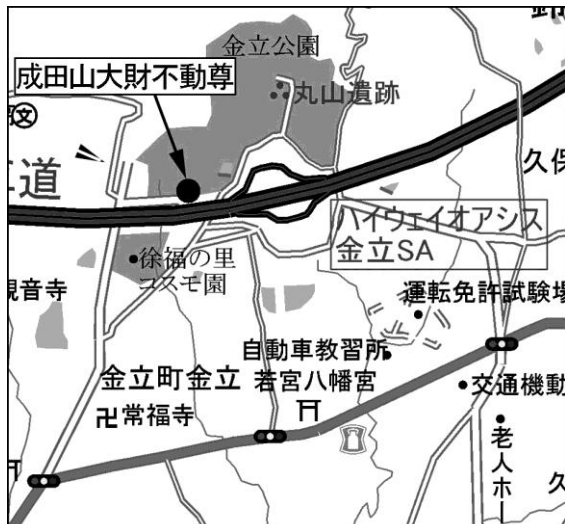




観覧会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡！

①4月7日 佐賀市・金立公園



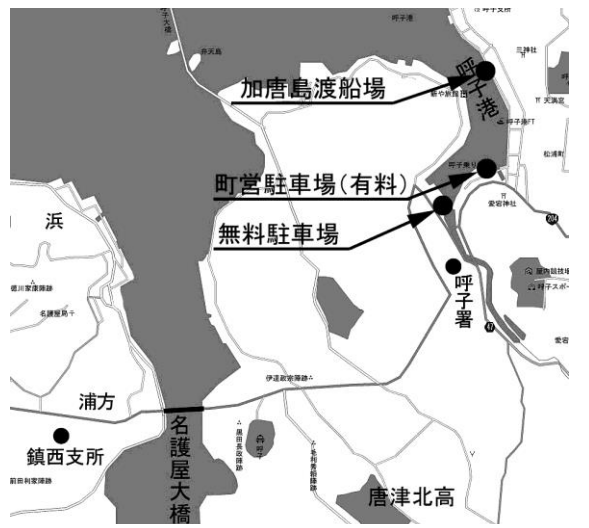
②4月20日 支部設立25周年記念講演会



②4/21 ⑤5/6 ⑦5/18、19 東よか干潟



⑥5月12日 唐津市・加唐島



⑧5月26日 支部総会





観察会などのご案内 (2019年4月～5月)

①4月7日(日)

金立公園観察会(佐賀市)

[集合] 09:00 金立公園・成田山大財不動尊前
[見どころ] 春に舞うシジュウカラやアオゲラを観察。

③4月30日(祝)

長崎県・野母崎観察会(長崎市)

④5月1日(水)～3日(祝)

山口県・見島探鳥ツアー(萩市)

※詳しくは 10 ページの案内をご覧ください。

⑥5月12日(日)

加唐島観察会(唐津市)

[集合] 7:45 唐津市呼子町の加唐島渡船場
(佐賀銀行呼子支店の少し北側)
呼子港 08:00 発の加唐島行渡船に乗船します。
[見どころ] 島嶼でしか見られない「カラスバト」や営巢中の「ミサゴ」を観察します
①渡船乗り場まで有料駐車場から徒歩 10 分、無料駐車場から同 15 分。
②弁当、水筒、雨具をご持参ください。
③帰りは加唐島 16:30 発の渡船で戻ります。

②4月20日(土)、4月21日(日)

支部設立25周年記念講演会& 東よか干潟記念観察会

(4/20) 14:00～ 記念講演会 (受付 13:00～)
会場:ガーデンテラス佐賀 ホテル & マリトピア
(4/21) 08:00～ 東よか干潟観察会
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台集合
※詳しくは 2、3 ページの案内をご覧ください。

⑤5月6日(休)

⑦5月18日(土) 5月19日(日)

東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] いずれも 08:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[見どころ] 渡り真っ盛りの「シギ」「チドリ」を観察します。
※5/18、19の観察会は、佐賀市主催のイベントに合わせて行います。

⑧5月26日(日) 支部総会

[時間、場所] 10:00～12:00
佐賀市本庄町の「本庄公民館」
※詳しくは 3 ページの案内をご覧ください。

※観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は佐賀県支部携帯電話(080-1786-8452)へ連絡をして下さい。

共通事項

- ① 資料代、保険代として 100 円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-4932-5740)
〒849-1315 鹿島市三河内 2974-1
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>